

12月19日(日)

声援が後押し
半島を全力疾走

第63回渥美半島駅伝競走大会が開催さ

れ、全国各地から89チームが出場しました。伊良湖岬を起点に、女子は赤羽根市民センター、男子は豊橋技術科学大学のゴールを目指すこの大会。選手たちは、練習の成果を発揮し、渥美半島を駆け抜けました。

12月9日(木)

海の恵みに
感謝しよう！

ノリすき体験が福江小学校で行われ、同校の

5年生43名が参加しました。ノリ網を引つ掛ける竹棒打ちを10月に行ったのを皮切りに、ノリ網張りや収穫などを行ってきた児童たち。慣れない手つきながらも真剣にノリをすき、乾燥させた後に全校児童で海の恵みを味わいました。

12月12日(日)

城跡で感じた
郷土の歴史

渥美半島城めぐりが開催され、市内外から26名が参加しました。二行は、田原城跡周辺

を見学後、バスで移動し、和地城跡(和地町)や和名山城跡(堀切町)などを見学しました。参加者は、現在でも地名に城の名前が残っていることなど、郷土の歴史を学びました。



▲懸命にたすきをつなぐ選手たち。優勝チームは次のとおり
【一般の部(男子)】滝ヶ原自衛隊 【高校の部(男子)】愛知高校A
【女子の部】中京大中京高校A



▲細かく砕いたノリを木枠に入れる作業を行う児童たち



▲和地城があったとされる三島神社周辺を見学する参加者たち